

# いしづち

2019.9

No.130



公益社団法人 愛媛県建築士会

<http://www.ehime-shikai.com>



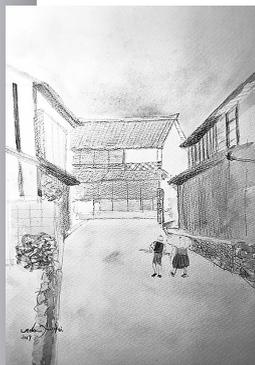
愛媛県建築士会館完成報告

伝統建築物 藩老桑折氏武家長屋門

スケッチ紀行 イワカガミ、蔵王での出会いから皿ヶ峰での再会

1	愛媛県建築士会館完成報告	会館建設委員長 寺尾 保仁 ……①
	愛媛県建設会館建て替え完成のご報告及び御礼	会長 赤根 良忠 ……②
2	伝統建築物	藩老桑折氏武家長屋門(伝統工法) 宇和島支部 酒井 純孝 ……④
3	スケッチ紀行	イワカガミ、蔵王での出会いから皿ヶ峰での再会 松山支部 安藤 雅人 ……⑨
4	委員会報告	2019年度 愛媛県建築士事務所協会・愛媛県建築士会合同親睦ゴルフコンペ報告 総務・企画委員会 委員長 武内 邦彦 ……⑩
	国土交通大臣感謝状をいただく!	文化財・まちづくり委員会 委員長 花岡 直樹 ……⑪
	令和元年度 中四国まちづくり委員長会議	文化財・まちづくり委員会 副委員長 峰岡 秀和 ……⑫
	愛媛県歴史的建造物相談所 ～設置と第1回相談対応～	歴史的建造物相談委員会 副委員長 花岡 直樹 ……⑬
	青年・女性中四国ブロック島根大会報告	宇和島支部 櫻井 一博 ……⑯
		今治支部 青陽 孝昭 ……⑰
	二級建築士学科試験対策勉強会報告	青年委員会 副委員長 和田 崇 ……⑱
	令和元年度 青年会員総会及び女性委員会合同懇親会報告	青年委員会 委員長 松平 定真 ……⑲
	令和元年度 女性会員総会報告	女性委員会 委員長 近藤 佳代 ……⑳
	令和元年度 第29回全国女性建築士連絡協議会(東京)報告	八幡浜支部 眞田井良子 ……㉑
5	支部報告	松山支部北地区主催 明石寺・宇和島城・遊子の段畑・こもてらす研修会に参加して 松山支部 田中 安紀 ……㉒
	令和元年度西予支部総会報告及び「建築士の日」行事計画	西予支部長 信宮 靖 ……㉓
6	けんちくの輪	平成時代 松山支部 相原 昌彦 ……㉔
	建築士会の活動を通じて	伊予支部 石田 達也 ……㉕
7	お知らせ	令和元年度 通常総会概要報告 事務局 ……㉖
	令和元年度 第1.2回理事会概要報告	事務局 ……㉗
	武内邦彦さん 国土交通大臣表彰報告	事務局 ……㉘

※尚、表紙及び本誌記事の無断転載を禁じます。



### 水彩画

題：「内子町」  
上田 勇一

[表紙画について]

内子町は、古くから大洲街道の交通の要衝として、また四国遍路の通過地として栄えた町である。江戸時代後期から明治時代にかけて木綿の生産によって栄えた町で、その面影が今も色濃く残っているのが、八日市・護国地区の町並み。約600mの通りに伝統的な造りの町家や豪商の屋敷が、当時のまま軒を連ねている。浅黄色の土壁が目につくが、この壁は、地元の土で塗られたもの。白漆喰と黄土が織りなすコントラストは、独特の温かい風景をつくり出している。

※参考資料/内子町ホームページより

### 表紙作者 上田 勇一 プロフィール

1974 東京生まれ  
1980 小学校から高校まで松山在住  
1990 東日本建築教育研究会製図コンクールにて奨励賞  
1991 愛媛県内高校生建築競技設計にて会長賞(愛媛県建築士事務所協会主催)  
1993 画家・高橋勉氏に師事。約10年間、古典絵画技法全般を学ぶ  
1996 日本工業大学建築学科 卒業  
1998 画家として活動を開始する。東京や埼玉にて毎年個展開催  
2002 日本ファンタジーノベル賞受賞作者「世界の果の庭」(新潮社)の装丁担当  
2003 美術家の登竜門である昭和会にて優秀賞(東京/日動画廊)  
2010 愛媛県美術館に作品「ドライブフラワー」收藏される  
2015~17 愛媛新聞 冊子「アクリート」表紙画連載  
2017 絵画教室やオリジナルブランド額工房「樹リチェルカ」を設立  
「えひめの塗り絵」を出版  
その他、出版装丁画や受賞多数、全国にて個展中心に活動  
現在、現代日本美術会 会員/審査員

# 愛媛県建築士会館完成報告

1

愛媛県建築士会館完成報告

会館建設委員長 寺尾 保仁

この記事が掲載される頃は、もうすでに会館が使用されている事と思いますが。会館は、皆様方の多大なご協力とご尽力を得まして完成致しました。本当に有難うございました。委員会を代表致しまして心より御礼申し上げます。

会館建設委員会は、3年前の建設準備委員会発足以来足かけ4年間、それ以前の会館の耐震改修か、移転か、建て替えかの議論を経て、会館建て替への結論を持って組織され、以後実務を担当して参りました。当初からの委員の方も居られるし、代わられた方も居られますが皆さん頑張って頂きました。

会館建設委員会に対しましては、皆様や関係団体の方々より直接あるいは、間接的にも貴重なご意見を頂きました。中にはかなり厳しいご指摘もございました。それら全てにお応えする事はできなかったかもしれませんが、できるだけ皆様のご期待に添えるよう、皆で協議、努力致しました。結果としてなんとか会館を完成させることが出来ました。

建設に当りましては、取り巻く環境は良い状態ではありませんでした。皆さんご存知の通り、狭い敷地、隣地には建物が迫ってきており、部分的には隣地の建物と共有する部分が存在していたりして、それらの協議も必要とされました。また、アスベスト対策においても検査機関の調査、役所との協議、解体業者への対応と、皆様なら容易に想像がつくと思われそうですが、大変な事もありました。それらに対しては、監理者の和田さん、大西事務局長の多大な協力を得まして、乗り切ることができました。

資金面に関しましては、総会でご報告させて頂きましたように、低利の銀行融資と皆様方の御寄附、ご融資を頂きまして、会館建設が計画から現実のものとなりました。返済につきましても、3階テナント事務所に（一社）愛媛県建築士事務所協会様に入って頂き、その家賃、1階貸会議室の収入見込み等により、負担が少なく抑えられることとなりました。今後は、より一層の会議室の有効利用と、会員数維持の対策強化が図られることを望みます。

昨今の建築を取り巻く事件として、共同住宅等の界壁施工不足、耐震化不良問題などがあり、また、災害時に建築士が関わることが多くあります。会館建て替についても、旧会館が耐震診断において補強が必要であるという事から始まります。我々建築士として来たるべき地震に備え、建物の耐震化を進める立場として、災害時における社会的立場を考えるには、なんらかの対策を取る

必要がありました。移転、補強、建て替えなどの方法が検討され、どれも一長一短が有りましたが、これまでの会館の歴史もふまえて建て替える事と致しました。建築士が社会に貢献する上においても自身の仕事においても、建築物の耐震化を推進するにあたり、我々建築士会会員は、模範的な事業が出来たと思います。

その事業の推進においてご不満も有りながら、それにも増してご協力いただきました会員各位の皆様には改めまして心より御礼申し上げます。建築士会館を今後ますます利用して頂く事をお願い致しましてご報告とさせていただきます。



# 藩老桑折氏武家長屋門 (伝統工法)

宇和島支部 酒井 純孝



正面入口



二代藩主宗利侯が改修した天守閣

## 【天守閣】

宇和島城は藤堂高虎が慶長6(1601)年に築造をしたと考えられていて、その時は自然の岩盤に建つ珍しい形といわれていた。現在の形に建て替えられたのは伊達家二代藩主宗利が大改修をした寛文年間(1661～72)である。現存天守12城の一つで重要文化財に指定されている。天守閣は単独式(三層)三階で、外壁は白壁(漆喰)総塗りで、一層は六間四方、二層は五間四方、三層は四間四方となり塔風の形状となっている。正面最上階の屋根は大きな唐破風、二層目の屋根は大きな千鳥破風、一層には二つの千鳥破風と更に玄関の屋根は唐破風を設けて極めて美しい姿である。

## 【長屋門】

城山入口の北の門は、宇和島藩家老桑折家長屋門として創建されたもので(現在の桑折医院の位置にあった)

創建当時の間口は35m、奥行4.1mであり、主出入扉は縦-3.1m、幅-1.3m、厚-10cm。脇扉は縦-1.87m、幅-1m、厚-7cmでいずれも重厚である。従って当時の桑折左衛門家が伊達藩においていかに重要な役人であったかということが門の規模から想像できる。

終戦後、幸いにも戦災をまぬがれた門は、道路拡張の必要上移転することになり、桑折家より宇和島市に寄附された。当時の市長国松福祿氏は戦災復興事業費によって現在の位置に移転することにしたが、移転先がせまいため間口は7.50間、奥行2.0間の規模で、地引工事によって昭和27年に移転工事を完了した。

## 藩老桑折氏武家長屋門の概要

木造2階建て	入母屋造り	瀬貝造り	つし造り
伝統工法	屋根-和瓦土葺き	鎬造り、切放し	三曳き家紋入瓦
建築面積	20.0坪		
延床面積	1階-17.50坪	2階-11.0坪	
	合計-28.50坪		
外部	下見板貼り(ささらご貼り)、 土壁漆喰仕上げ		

礎石・土台 砂岩(宇和島石)土台5.0寸角

## 【部屋の使用用途について】

現在の間取りは住居の設備を構えた間取りに移転復原をしていて、土間以外、畳敷きと板張りで施工。しかし、創建当時は平面右の部屋には1階に馬小屋、2階にそれらの物置きに類する部屋と想定する。土間から2階梁下までが高さが低いので少し疑問に感じ、調べてみると江戸時代の馬の高さは(肩までの高さ)

100cm～130cmで首の高さを加算すると、どうにか馬を飼う事ができる。(馬の高さは日本在来8種により)

また、南(左側)の部屋は仲間、小者が居住していたものであるが、1階も2階も畳敷き



脇出入り口

になっているものの、敷居と畳寄せは後補のものとは見分けができるため、創建当時はいずれも板貼りと想定できる。

創建当時の1/2の規模縮小の保存になり、炊事場は現地移動はできなかった。

左右の部屋の階段については現在の時代に合わせた階段にしているが、馬小屋は梯子、仲間・小者の部屋の階段は簡単な階段と想定していて現在のものとは異なる。

この門の創建時期は明確でないが江戸時代中期とされていて、構造の木材は創建当時のもので復原されているが、移転完了から67年が経過していて、腐り、蟻害に遭ってかなり傷みが激しい。数年前、修理のための調査が完了。修理復原が待たれている。



主出入口大扉



北側から正面



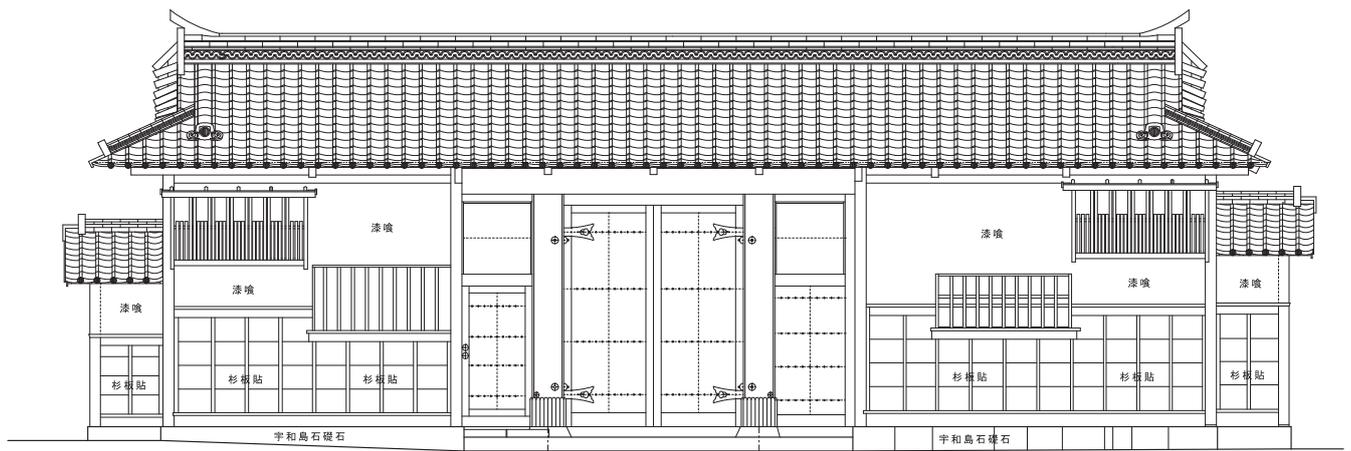
扉の金物（隅金物・ひじ坪金物・乳金物）



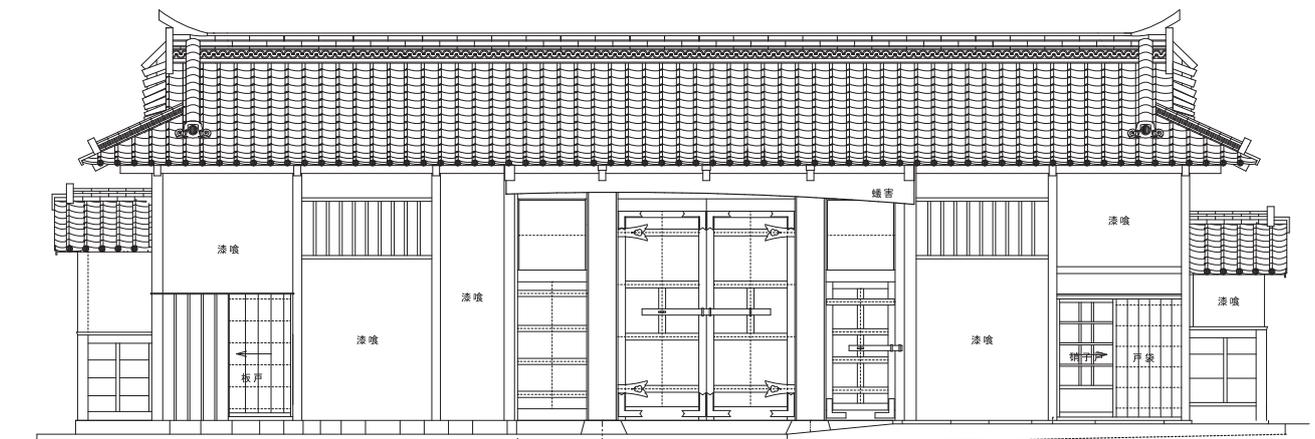
入母屋妻面懸魚と鬼瓦の家紋



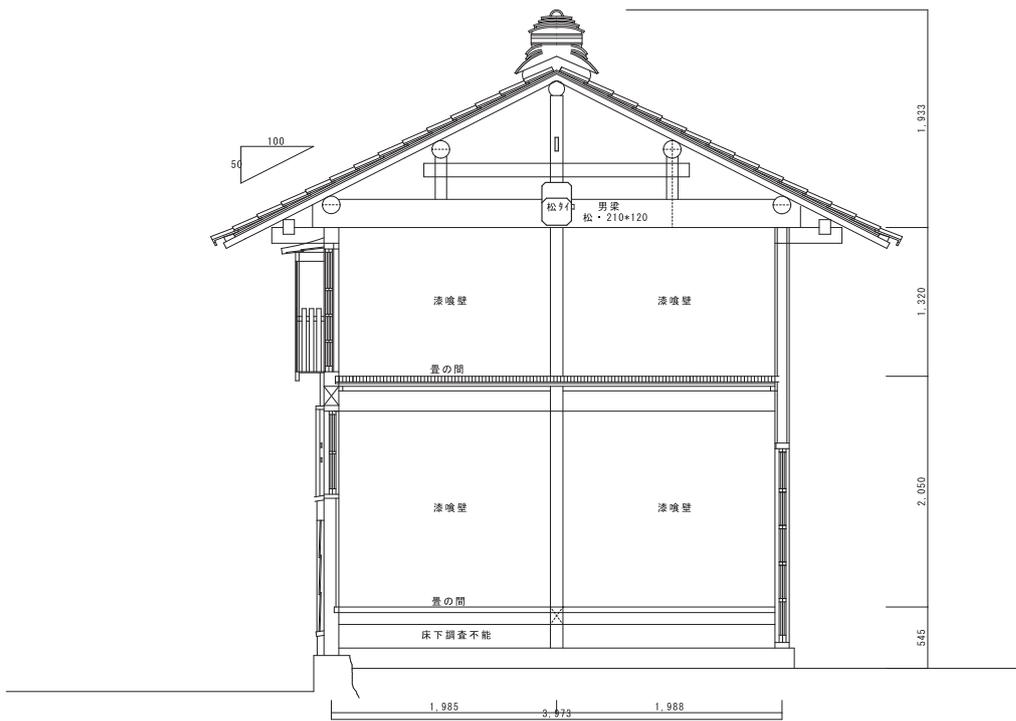
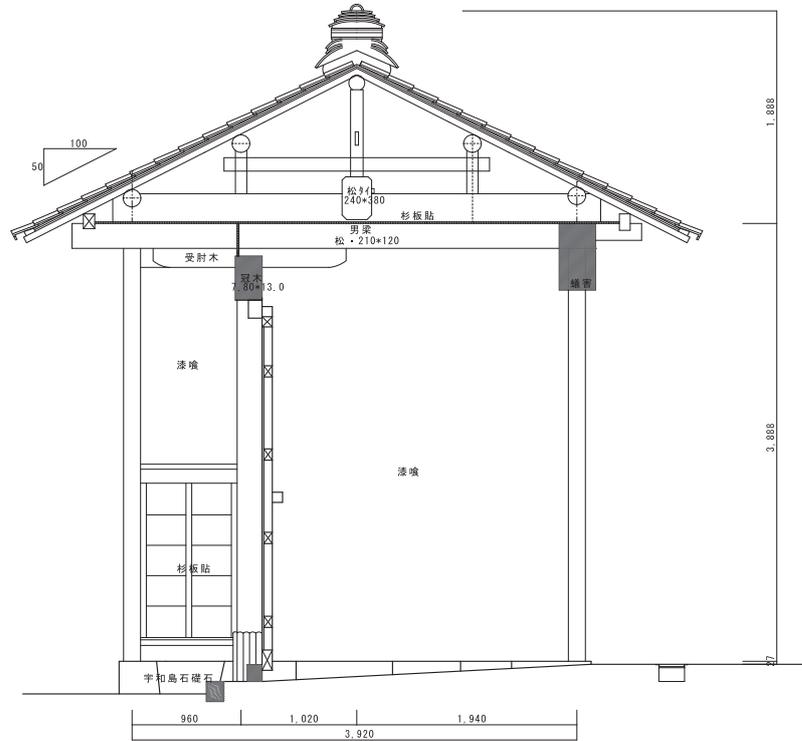
移築前の桑折氏武家長屋門

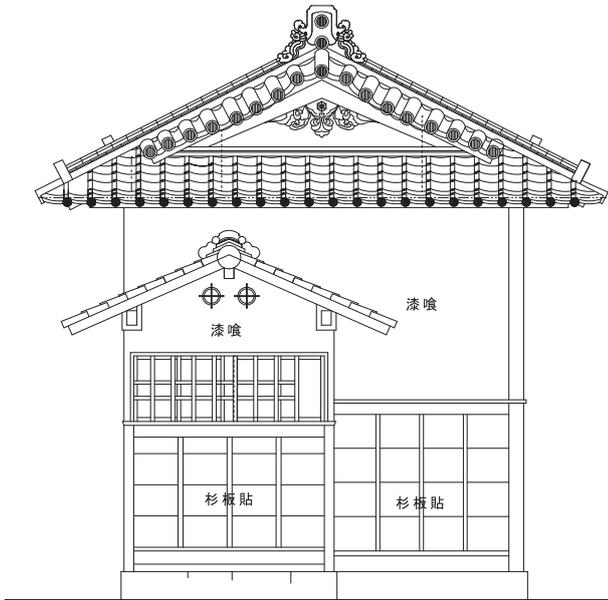


東立面図

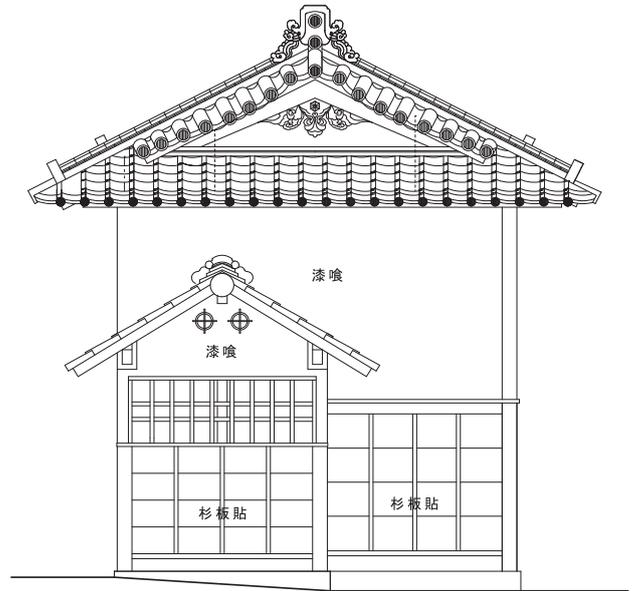


西立面図

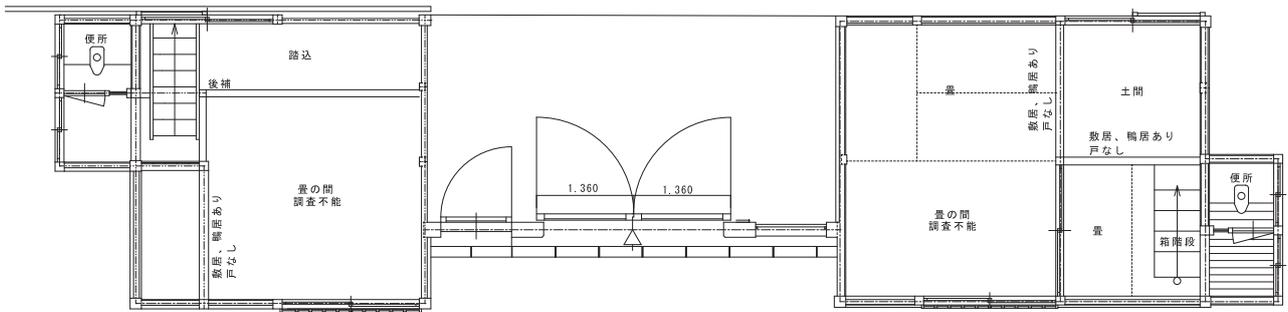




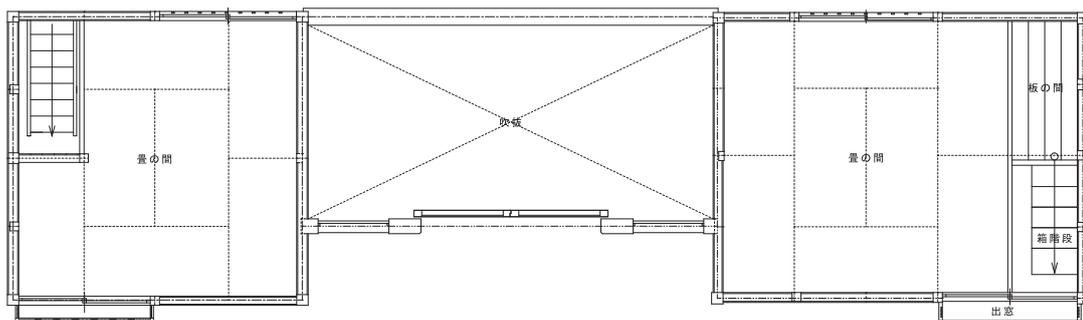
北立面図



南立面図



1階平面図 1/50



2階平面図 1/50



# イワカガミ、蔵王での出会いから 皿ヶ峰での再会

松山支部 安藤 雅人



蔵王の御釜

以前にも書きましたが、私が山野草好きになったのは、2012年の春から夏にかけて、宮城県に災害派遣に行った際に、観光で訪れた、蔵王が始まりです。

蔵王は、私達の地元の石鎚と同様に、複数の頂による連峰です。魅力的な場所が沢山あり、山形蔵王には、スキー場や、大きな露天風呂があって、楽しいのです。宮城蔵王の頂上付近には、御釜があり、天候によって、水の色が微妙に変化して美しいです。山の天気は変わり易くて、ガスで見えない時が多いそうですが、日頃の行いが良いので、一発で見えました。また、付近の岩場が、高山植物の宝庫で、初夏に訪れた時には、イワカガミ（岩鏡）やコマクサ（駒草）が沢山生えていました。



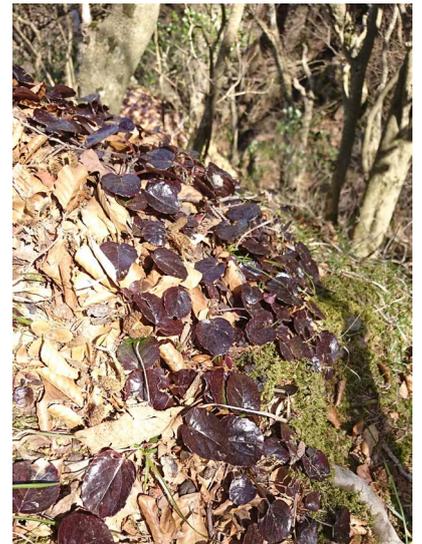
蔵王のイワカガミ

愛媛に帰って、友人に誘われて、皿ヶ峰に上ってから、色々な美しい山野草を知り、花の絵を描き始めましたが、蔵王で見たイワカガミが気になって、撮った写真を元にして絵を描いてみました。振り返ると、像が小さかった為に、随分と誤魔化して葉を描いていたと思います。ある日、先達が付いていった時に、皿ヶ峰にもイワカガミがあると教えていただいて、場所も探してもらえたので

すが、その時には見つからなかったです。

今年こそは、絶対にイワカガミを見ようと思立ち、ネットで場所を探しましたが、盗掘防止の為に、明確に示さない習わしがあり、中々、絞り込めませんでした。十字峠付近ということが分かったので、4月に捜索に行きました。現場に着くと、頂上に向かって、登山道の左側が急な崖になっていて、落ちると危険な場所でした。岩場に生えるので、きっと崖側だと予想を付けて、暫く歩いていると、何もない筈の崖に向かって、人の足で踏み固められた30cm幅の道が2本、逆V字型に通っているところがありました。気になって崖に近づいたら、岩の上に、鏡の様な光沢がある、赤茶色の丸い葉が沢山張り付いている光景が目飛び込みました。終に見つけた。とても感動的な再会です。

今度は、5月下旬。見つけた場所に、イワカガミの花が咲く姿を観に行きました。大きな岩の向こうの崖側に沢山咲いていて、最初は岩に向かって右側で、命懸けで観察していましたが、途中で、左側の方には安全な場所があることに気付いて、花に接近して、良く観察が出来ました。近くから撮った良い写真ができたので、また、暇がある時に、絵を描き直したいと思います。



皿ヶ峰のイワカガミの葉

愛媛は南国ですが、急峻な山がある御蔭で、寒い地方で多くみられるような山野草も観ることができます。皿ヶ峰のイワカガミに限らず、四国中央市の鋸山から豊受山に亘るカタクリの群生や、新居浜市銅山越えのツガザクラ等、本当に素晴らしいと思います。また、久万高原町のフクリンササユリ等、石鎚山系や四国独自の特色をもった花も多くて、こうした多様性（ダイバシティ）が豊かさをもたらしていると思います。

最近、米国のトランプ大統領等に代表される排他主義が台頭していますが、自然界だけでなく、社会においても、多様性を保つことが、持続可能な社会を作る上で、最も大切なことだと切に思います。

# 2019年度 愛媛県建築士事務所協会・ 愛媛県建築士会合同親睦ゴルフコンペ報告

委員会報告

4

総務・企画委員会 委員長 武内 邦彦



(ナイスショットのイメージしかないスタート前)

開催日：令和元年5月14日(火)  
場 所：愛媛ゴルフクラブ(内子町)  
参加者：51名

事務所協会様と建築士会の恒例のゴルフコンペを愛媛ゴルフクラブにて開催いたしました。

雨の心配も少しありながら、キングコースとプリンスコースに分かれてスタートです。今年は51名もの参加をいただきまして、ありがとうございました。

各組とも、好プレー、珍プレーあり、ナイスショットやナイスチョットもありで、和気あいあいにプレーして頂けたと思います。年に一度の機会ですので、今後も皆様のご参加をお願いします。

さて、結果です。

優勝は、寺尾数則さん(愛媛県仕上工事業協

同組合)。キング40、プリンス37、グロス77、HD7.2、NET69.8でした。

なんと素晴らしいスコアです。

また、ベスグロ賞も獲得されました。

なお、準優勝は、高田敏寿さん(ルーフトカタ)。3位は、井上竜治さん(愛媛建築住宅センター)でした。

飛び賞のほか、ドラコン賞、ニアピン賞などがあり、表彰式は楽しくご歓談頂けたと思います。

幹事役の私は、21位と目立たない位置で飛び賞もドラコン、ニアピンもなく、KYなゴルフをいたしました。

運営にあたり、不手際も多々あったとは思いますが、「親睦」ということで大目に見て頂けたらと思います。

それでは、来年もよろしくお願いいたします。

# 国土交通大臣感謝状をいただく!

～都市計画法・建築基準法制定100周年記念式典にて～

文化財・まちづくり委員会 委員長 花岡 直樹

令和元年6月19日に東京国際フォーラムで、都市計画法・建築基準法制定100周年記念式典が、石井啓一国土交通大臣他の方々のご出席のもと執り行われました。

その席で文化財・まちづくり委員会が大臣感謝状をいただきました。建築基準法関係では個人141名と14団体が選ばれましたが、本委員会は「文化活動を通じて建築行政普及啓発に顕著な功績のあった団体」ということで選ばれた次第です。「特定行政庁における建築行政の推進に顕著な功績のあった個人（建築審査会長）」として選ばれた、高橋浩一郎氏、ほか赤根良忠会長、井上竜治氏も参加してくださり式典に臨みました。



感謝状

式典では国土交通大臣表彰のあと、伊藤滋東京大学名誉教授の「万華鏡都市東京」と題しての記念講演、「東京の都市づくり」をテーマにパネルディスカッションも行われました。

会場に愛媛新聞社東京支社の方が取材に来てくださり、明るる日に早速記事として載せていただきました。恥ずかしながら紹介させていただきます。また、式典の翌日、赤根会長と神奈川県平塚市にお住いの、河合勤文化財委員会初代委員長の奥様の薫子さんに、感謝状を持って報告に行ってきたことを申し添えます。

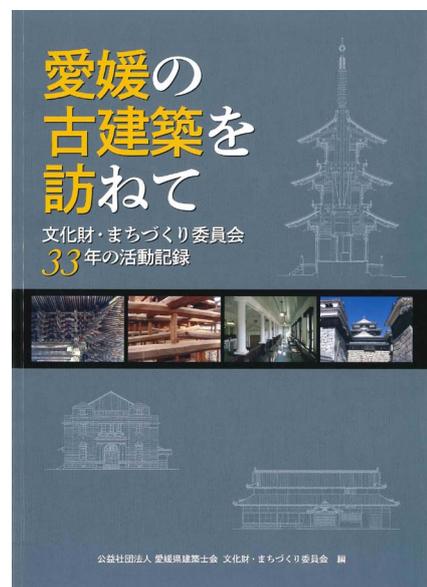
この賞は今の委員会が、ましてや委員長の私がいただいたものではなく、これまでの全委員とそれに協力してくださった方々みんなで受賞したものです。これまでの地道な活動をつこつこ積み重ねてきた実績が認められたということで、とてもうれしく思っています。みなさん、本当にありがとうございました。

今回の受賞は、愛媛県の建築住宅課から推薦をいただき実現したのですが、実績として大きく取り上げられたのが、去年の10月に発刊した「愛媛の古建築を訪ねて」でした。いしづちNo.126でもすでにご紹介させていただきましたが、委員会の33年にわたる活動記録を1冊の冊子にまとめたもので、調査・研究、市民講座の報告等で県内の建築を紹介し、委員研修の報告では、特に保存修理工事中の、県外の著名な古建築も載せています。この受賞を機に、というわけではありませんが、会員の皆様にはぜひ手にとってご覧いただければと思います。また、愛媛県建築士会の活動を幅広く知っていただくために、会員外の皆様にも是非お勧めください。どうぞよろしくお願いいたします。

(お問い合わせは建築士会事務局まで)



愛媛新聞で紹介された翌日の記事



愛媛の古建築を訪ねて

# 令和元年度 中四国まちづくり委員長会議

開催日：7月13、14日

会 場：美保館（島根県美保関町）

参加者：3名

7月13・14日に島根県美保関にある美保館にて、令和元年度中四国まちづくり委員長会議が行われました。愛媛県からは花岡直樹委員長をはじめ、峰岡秀和、遠藤禎誌の3名が出席いたしました。

美保関は、湾の向こうは鳥取県という県境の町で、江戸時代では北前船の要所として繁栄していました。現在も軒を連ねる宿のすぐ目の前に漁港があり、当時の面影を知ることができます。会場となったのは美保館という宿で、国の登録有形文化財となっています。



美保館内部の様子

13時から各自己紹介が行われた後、早々に会議が始まりました。まず各県様々な特色のある活動報告がありました。岡山県からは防災まちづくりに関して、耐震模型の作成や木造住宅の耐震化の普及についてお話がありました。次に各部会の報告です。徳島県では空き家まちづくりで空き家対策について報告がありました。徳島県では空き家判定マニュアルを作成、空き家判定士の講習を行っています。空き家の利活用に向けて、空き家カルテの作成やオプションで耐震診断も行っているようですが、現状は除却が多く、4倍以上という状況でした。山間部の空き家対策の一案として、漁村部の津波等災害時におけるセカンドハウスとして活用するのはどうかなど、面白い意見もありました。自治体との連携などハードルはありますが、防災と空き家まちづくりが連携し、解決していくという非常に興味深いモデルのお話でした。

休憩をはさみ、15時から中四国青年女性地域実践活動報告として、岡山県の青年委員会から「建築フェス」の報告がありました。単一の企画をするのではなく、来場者を中心として、様々な建築に触れることができるよ

文化財・まちづくり委員会 副委員長 峰岡 秀和

う、様々な企画に参加できるイベントです。お祭りの屋台をめぐる感覚でイベントが企画されており、意見交換会では中四国でもブースを取り、9県合同の紹介ができればという意見もありました。また、そのようなイベントを周知するためのプラットフォームづくりの必要性も話し合われ、例えば、SNSではどういったものが良いかなど建設的な話し合いがもたれました。



会議の様子

結果として、今会議では建築フェスが今後あるならば9県合同でフェスが可能か、また様々なイベント、勉強会などの情報共有のためのプラットフォームづくりをこれから行っていくこと、ヘリテージマネージャーの9県内での講座を自由に受けることができる様にしていくことなどを進めていくことを取り決め閉会となりました。※大まかな骨子であり、枠組みの作成、詳細内容の取り決めは後日となっています。

2日目は美保関の町並みを見学しました。湾からあがるように参道が伸びる美保神社は町の中心の神社であり、諸手船神事という船の祭りは今も盛んにおこなわれています。町の石畳は森山石と呼ばれる青色をした石で、両側にひしめく建物を静かに彩っていました。

来年は愛媛県で開催される予定です。



まち歩きは島根県建築士会の足立会長がご案内してくださいました

# 愛媛県歴史的建造物相談所 ～設置と第1回相談対応～

歴史的建造物相談委員会 副委員長 花岡 直樹

## 1. 歴史的建築物の保存活用促進等に関する相談体制の整備強化事業

少し長い名称ですが、上記の事業が平成30年度より(公社)日本建築士会連合会によって推進されています。まずは全国から、愛媛県ほか新潟県、富山県、大阪府、奈良県、和歌山県、福岡県、大分県、宮崎県、鹿児島県の計10府県が選抜され取り組みを始めています。

目的は、①歴史的建築物の保存活用促進に関する相談体制の構築 ②ヘリテージマネージャーのスキルアップ講習会の実施です。まず②に関しては昨年度の3月16日に第1回目の講座を連合会よりの補助金を得て実施し、今年度の9月7日から令和2年1月18日まで、全6回の講座を行い、全講座受講者には修了証が発行される予定です。また①についての具体的な内容は、歴史的建造物相談窓口の開設と、歴史的建造物委員会の設置ですが、後者は他県の取り組みを見てもとてもハードルが高く、これから慎重かつ大胆に計画をしていかなくてはならないと思います。建築士会では、まず相談窓口として「愛媛県歴史的建造物相談所」を開設しました。

## 2. 愛媛県歴史的建造物相談所

文化財・まちづくり委員を中心に、またなるべく若い人に、ということで次のとおり委員を選任し、平成31年3月26日の理事会で承認されました。(敬称略)

- ・委員長：大西勝秀(総括・事務局長)
- ・副委員長：花岡直樹(総括補助)
- ・委員：鴻上八大、曾我部準(意匠・東予担当)  
峰岡秀和、若松一心(同・中予担当)  
酒井久和、眞田井良子(同・南予担当)  
柚山一利(構造担当)  
久保 孝(防火・避難担当)

曾我部氏は元委員、柚山氏は委員ではありませんが木造の構造に強く、また両名ともヘリテージマネージャー養成講座の修了生ということで選ばせていただきました。

具体的な活動方法、費用については今後の検討ということになっています。

## 3. 相談第1号

初回の相談が本当にいいタイミングでありました。対象は国の登録有形文化財の越智家住宅(平成14年2月14日登録)。3月23日に所有者のお一人の佐野典子様(同)が私の事務所に来られ、建物の現状の調査と今後の維持・活用に関するアドバイスを求められました。士会会員の佐々木世希氏と松山写真倶楽部を通じてのお知り合い

で、彼に事情をお話したところ、花岡を紹介してくださったとのこと。出来立てほやほやの相談所から、副委員長の花岡、東予の意匠担当の鴻上・曾我部委員、構造担当の柚山委員の4名で4月20日に調査を実施、もちろん佐々木氏も立ち会っていただきました。

そして報告書にまとめて5月9日に提出させていただきました。今回、相談所の立ち上げと第1回目の相談について、この「いしづち」に報告するに当たり、報告書の内容も載せてもよいでしょうか、の問いかけに対し、とてもうれしい答えをいただきましたので、紹介させていただきます。

会報「いしづち」への掲載の件、当方としましては全く異存ありませんのでよろしく願いいたします。むしろ会報等で少しでも多くの方に知っていただき、今後の活用についてもお力添えいただければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。そして「専門家の方々に相談にのっていただいととても心強かった」という相談者としての声も是非強調してください。

それから皆様に越智家を知っていただけるように、ユーチューブの「愛媛古民家」というチャンネルを作ってアップしています。是非ご覧ください。

佐野典子

母屋

<https://www.youtube.com/watch?v=TGoPXv1ffys>  
隠居

<https://www.youtube.com/watch?v=ZC7mjUlqJg&t=45s>

以下が提出した報告書です。

令和元年5月9日

佐野 典子様

### 登録有形文化財 越智家住宅 建物概観調査報告書

#### 1) 調査日時・調査者

建物所有者の佐野典子様より依頼を受け、下記の通り概観調査を行った。

- ・調査日：平成31年4月20日(土)
- ・調査者：花岡 直樹(愛媛県歴史的建造物相談所 副委員長)  
曾我部 準(同委員 東予地区意匠担当)  
鴻上 八大(同上)  
柚山 一利(同委員 構造担当)  
・立会者：佐野 典子様、飯尾御夫妻

(以上建物所有者)  
佐々木世希氏(紹介者)、  
亀岡 隆氏(亀岡建築、建物維持・修理担当)

## 2) 越智家住宅の概要

越智家は、今治市と西条市をつなぐ国道196号線沿い、燧灘の近くの西条市壬生川に位置する。明治期以降この地域一番と言われた豪商で、当時の面影をよく残した建物が建ち並んでいる。平成14年2月に、以下の3棟が国の有形文化財に登録された。

- ① 店舗及び居宅(江戸後期建築)
- ② 数寄屋(昭和2年建築)
- ③ 茶室(同上)

なお、店舗及び居宅の東には蔵があったが、国道拡幅の取用にかかり取り壊され、一部は駐車場として利用されている。

## 3) 建物の現況について

登録時の3棟の建物は現存するが、登録から17年を経過し、また無住状態が続いているため(約25年)、全般に経年による劣化、破損が目立つ。以下、保存修理工事が急がれる部分を挙げる。

- ① 店舗及び居宅
  - ・北側道路面の外観は、この家の顔として建築当初の面影を保っているが、玄関の西の柱は沈下が大きく、内部から目視で梁等の横架材が傾斜しているのを確認できる。
  - ・中央中庭の西の便所棟とその両側の廊下は破損が激しく、倒壊の恐れがある。
  - ・南端の座敷は大きく西に傾いている(柱の長さ3mに対して約143mm)。南外壁外にとりあえずの鉄骨補強はされているが、今後の地震等で倒壊の恐れがあると考えられる。
- ② 数寄屋
  - ・構造体は全般に健全で、致命的は傾斜も見られないが、柱は1階が100角、2階が95角と、建物の規模に対して細く、東側の和室が並ぶ側は構造耐力的に有効な壁が極めて少ない。
  - ・西面の板張り等の外壁面に破損が多く見られ、柱・梁等の構造体への影響が心配される。
  - ・南側和室3帖の物入れの足元で白蟻被害が確認された。

## ③ 茶室

- ・構造体、屋根等全般にわたって破損が激しく、倒壊の危機にさらされている建物である。

## 4) 保存・修理工事に対する指針

- ・店舗及び居宅の便所部分は新規材料による建て替え、南端の座敷部分は解体修理が必要と考えられる。
- ・店舗道路面の面の柱の沈下部分については、高上げの上、基礎の補強が必要と考えられる。
- ・茶室も解体修理が必要であるが、現況を観察する限り、ほとんどの木材を補足する必要があると考えられる。
- ・現在健全な部分も壁が少ないなど、構造的に脆弱な部分があると考えられるため、耐震診断を行った上、構造的な補強工事が必要と考えられる。
- ・その他外壁の仕上げ材、庇、手摺、縁板など破損が見られる仕上げ材について、復元修理が必要と考えられる。
- ・白蟻の被害については、現在生息はしていない様子ではあるが、定期的に点検調査を行い、生息が確認された場合は防除処理を行う必要がある。

## 5) 今後の維持方法についての指針

- ・登録された3棟全体にわたって保存修理し、維持していくことが理想である。
- ・しかし、そのためには4)項で述べた修理工事が必要で、多額の費用が掛かると考えられる。
- ・維持の方向を模索しているうちに、全体が劣化し取り壊しという最悪の事態を避けるため、破損が激しい部分を解体・撤去し、比較的健全な部分を中心に保存・修理工事を行い維持していくという方法も、選択肢の一つとして考えることが大切と思われる。

## 6) 活用についての指針

所要者の方からすでに行政、民間の団体への問い合わせは行われているが、これといった決め手は見つかっていない状況にある。保存・維持に経費が掛かるのみでは、存続も危ぶまれるものと考えられる。今後利用・活用してもらえる第三者を探し、利活用しながら保存していく道を模索していく必要があると考えられる。

具体的な良案は浮かばないが、調査時に出た意見を列挙しておく。

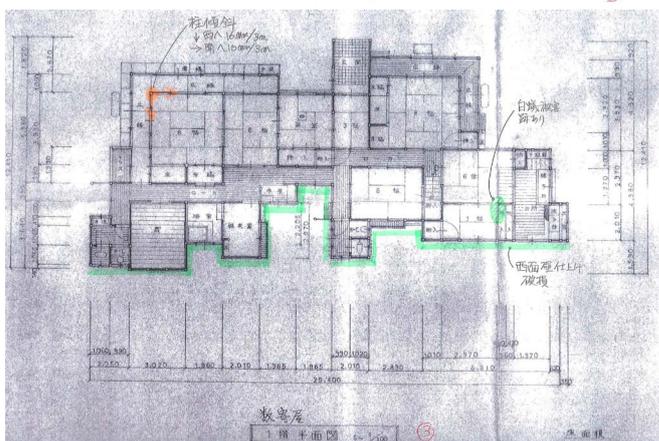
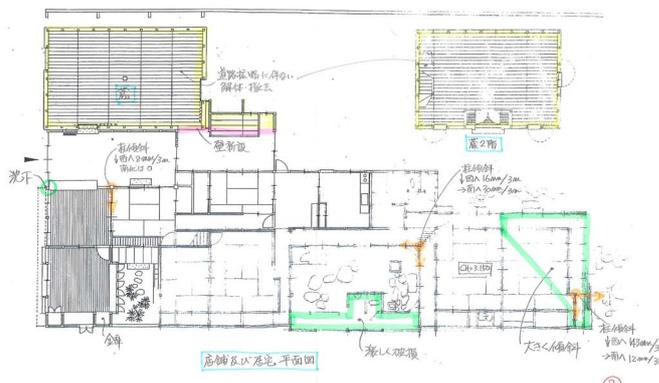
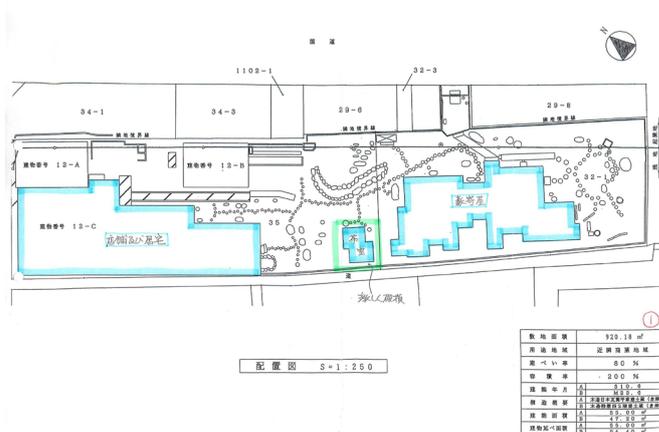
- ・自転車や遍路のルートとしてお休憩所に使う。
- ・西条市の空き家バンクに相談し、居住者を探す。
- ・商工会議所に同様の相談を持ちかける。
- ・地域の史談会に歴史的価値を活かした活用について相談する。



店舗及び居宅外観



数寄屋外観



調査図

# 青年・女性中四国ブロック 島根大会報告

宇和島支部 櫻井 一博

開催日：令和元年6月8～9日  
場 所：島根県松江市 くにびきメッセ  
参加者：43名

6月8・9日(土・日)『中四国ブロック島根大会：青年・女性建築士の集い』について報告いたします。

愛媛県建築士会から43名の登録で参加させていただきました。思い出は『トイレ休憩』『みきゃん』『ブラウン管』『添乗員』でしょうか。

朝5:40発、宇和島から貸し切りバスにて、参加者の皆さんと合流しながらスタートしました。約6時間の移動時間で会場に到着。昼食を少しの時間で摂って大会へ。



大会会場

各県より『地域実践活動報告』の発表もありました。愛媛県建築士会からは『おかしなまちをつくろう!』を近藤佳代さんから発表していただきました。運行上の少しのアクシデントがありましたが素晴らしい発表をしていただきました。その後、懇親会へ出席。

建築士会のこのような大会参加ははじめてだったのですが、たくさんの同志と交流することが出来ました。



懇親会



みきゃんと記念撮影

他県の方たちと同じような境遇の中、みんなも四苦八苦しながらどうすれば社員・会社を盛り立ていけるか、どうすれば自分たちの施工する建物がより多くの皆さんに受け入れてもらえるのか、など勉強するというか、考えさせられる事をたくさん感じる事が出来ました。

2日目はエクスカッション。わたしは『大建築の聖地』モダニズム建築を巡るコースを堪能しました。(島根県立図書館、島根県立武道館、島根県立博物館、島根県庁)担当・説明していただいた方たちから、事前準備をとて

もされているのだな、自分たちの町の建築へ対する熱い想いが、とても感じられる素晴らしいエクスカッションでした。



さあ、来年は『愛媛大会』です!! わたしたちも皆さんに負けない大会にしようと『愛媛県建築士会』がさらに団結することが出来た中四国ブロック島根大会だったのではないのでしょうか。お疲れ様でした。

# 青年・女性中四国ブロック 島根大会報告

今治支部 青陽 孝昭

建築士会に入会して、僕が初めて中四国ブロック大会に参加したのが2010年の同じこの島根大会でした。わけもわからず地域実践活動報告をさせて頂き、当時は大会を楽しむ余裕などなかった様に思います…(苦笑)。

今回の島根大会は青年委員会も卒業し、俯瞰しながら楽しもうと参加してきました。島根までの道中は青年委員会による段取りバスツアー！ 5時40分出発の宇和島支部さまには申し訳ないが、今治集合は午前8時00分と、楽ちんさせて頂きました。

会場は2013年の全国大会の会場でもあったくにびきメッセ。開会式までわずかな時間しかありませんでしたが、タクシーに乗り込み武家屋敷向左隣の八雲庵まで出雲そばを食べに行きました。帰りもタクシーで移動し、なんとか開会式に間に合いました。



さて、地域実践活動報告ですが、例年とは異なり発表前に各県3分間のご当地紹介があり、その後に実践活動報告という形でした。僕だけだったのかもしれませんが、

各県のご当地紹介の印象が強く残り、肝心な地域実践活動報告の内容がぜんぜん伝わってきませんでした。基調講演では、島根県職員の山本さまより県庁舎や県立博物館のモダニズム建築について、またそれらの耐震改修工事の担当者としての苦労話など聞かせて頂きました。そのなかで、駐輪場新築及び周辺の公園整備により、市民の憩いの場が変わってきた様子の説明はすごく勉強になりました。

懇親会では、中四国ブロックの友人たちとの久しぶりの再会でおおいに楽しませて頂き、また、今までに参加した大会懇親会の中で僕的には、最高のお料理でした。

エクスカージョンは「城・茶・迎」島根の時代を巡る散策Aコースを選び、生まれてはじめての松江城に行きました。学生ボランティアの案内があり、士会と学校との連携が整っていて、素晴らしく感じました。

一番の目的であった明々庵(メイメイアン)の見学。厚いかやぶきの入り母屋造りで、間取りは二畳台目と四畳半の席が組み合わせられ、水屋、台所も完備されている。二畳台目の茶室は通常、中柱を建て、炉を客畳に切る「向切り」「明々庵」掛け軸(レプリカ)であったが亭主筆の掲げた床の間は、五枚半の杉征の小巾板をそぎ合せた奥行き浅い床とするなど、定石に頓着しない亭主の好みを感じられました。

来年は愛媛でブロック大会が開催されます。青年OB等として微力ではありますが、大会成功に向けて出来るかぎり協力したいと考えています。



# 青年委員会主催 二級建築士学科試験対策 勉強会報告

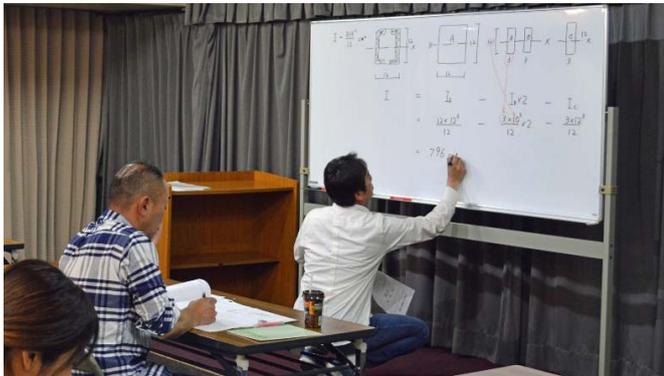
青年委員会 副委員長 和田 崇

開催日時：令和元年5月18日(土)18:00~20:00  
場 所：愛媛県林業会館 中ホール  
参 加 者：4名

5月18日、県青年委員会による新規会員獲得事業の一環として二級建築士学科試験対策勉強会を開催しました。参加者は、建築士受験申込書の配布時に手渡したパンフレットを見て申込みいただいた4名です。

青年委員会では昨年度より建築士製図試験対策の現場見学会（一級、二級）を開催しており、学科試験対策の勉強会は今回が初めての試みです。講師は青年委員会の浅野憲一さんと長岡康広さんが担当しました。

今回の勉強会に向けての打合せの際に私も約10年振りに建築士試験の問題を目にしましたが、自信を持って回答出来た問いはごくわずか。講師をつとめてくれたお二人を尊敬の眼差しで眺めながら、当日はカメラマンに徹することとしました。



長岡講師による授業

まず、長岡講師による構造力学の計算問題の解説がありました。毎年必ず出題されますが、苦手意識を持つ受験生がとても多い科目だと思います。講師が目前で解説を行い、つまづいた箇所は再度噛み砕いた説明を行うなど、少人数ならではの授業となりよかったです。

続いて、浅野講師による法規の解説がありました。実



浅野講師による授業

務経験を交えた浅野さんの授業は完全に本職の講師そのもので、こんな先生のいる資格学校に通いたかった！と(完全に受講者の一人となって)青年委員会のメンバー同士でひそひそ話しながら講義を受けました。

2時間という時間制限があったため急ぎ足とはなりましたが、講師のお二人の頑張りに加え、終盤は青年委員のみんなも参加して受講生に対して個別にアドバイスを送る場面もあり、小規模ながらよい勉強会が出来たのではないかと思います。



青年委員で受講生に個別指導

- 開催時期
- 告知方法
- 講師をつとめられる人材の確保
- 資格学校との兼ね合い

など、今後改善すべき課題も見つかりましたが、個人的に土会活動の中でも、若い方やこれから建築士を目指す方に建築の魅力を伝えることに力を注ぎたいと考えており、今回のような勉強会やワークショップ、資格取得のサポートなどを継続して実施することが出来れば、と思います。

勉強会参加者の方々が本試験で良い結果を残すことが出来、建築の世界でますます活躍されることを期待しています。浅野さん、長岡さん、青年委員会のみなさんお疲れ様でした。

# 令和元年度 青年会員総会及び 女性委員会合同懇親会報告

青年委員会 委員長 松平 定真

場 所：総 会 愛媛県林業会館中ホール  
懇親会 一銭蒸気蔵の庄  
日 時：令和元年6月29日(土) 18:00～  
参加者：35名

令和元年度青年総会及び女性委員合同懇親会が例年通り開催されました。

毎年、居酒屋等で総会と懇親会を開催していましたが、今年度はそれぞれ別会場で開催し、総会のみのお出席の方が出席しやすいようにしました。

総会では、昨年の活動報告、今年度の活動予定を説明させていただきました。その後、参加者全員での意見交換会をして、今後の青年委員会の活動についていろいろな意見を聞くことができました。まだまだ、総会に参加する青年会員も少ないですが、今回聞いた意見を参考にして、魅力ある委員会活動を進め、よりよい青年委員会にしたいと思います。



懇親会 尾藤副会長挨拶

来年度からは、6月は行事が多すぎるのと、中四国ブロック大会が愛媛開催なので、時期をずらして開催したいと思います。青年委員のみなさま、参加されたみなさま、ありがとうございました。

## 青年総会・活動等に参加したことがないみなさまへ

なかなか参加するきっかけやタイミングが難しいとは思いますが、一度参加すると、思ったより楽しいと思います。お堅い部分もありますが、そうでない部分（こっこのほうが多いかも……）もあります。また、同業の集まりでの意見交換の機会は少ないと思います。

ぜひ一度参加してみて、仲間作りや情報交換など自身の向上に役立てていただけたらと思います。



青年総会

今年度も、赤根会長、尾藤副会長、大西局長、事務局職員、青年委員会OBのみなさまにも参加いただきまして、ありがとうございました。

また、懇親会ではお酒を飲みながら、さらに深い意見交換、懇親ができたと思います。

毎年6月は、初旬の本会総会に始まり、中旬の中四国ブロック大会があり、ほぼ毎週、同じメンバーとお酒を飲み交わしていますが、会話も尽きることなく真面目な話や、くだらない話等々で例年以上に盛り上がったことで、時間が足りなくなり、二次会も（強要しないにも関わらず）多数参加されました。それ以降は…わかりません。



青年・女性合同懇親会

# 令和元年度 女性会員総会報告

女性委員会 委員長 近藤 佳代

開催日：令和元年6月29日(土)

場 所：愛媛県建築士会館1F 会議室

令和になって初めての女性会員総会が無事終了いたしました。今年の6月に竣工したばかりの真新しい会議室で、和気あいあいとした雰囲気の中会議が進みました。

総会の前半では、昨年度の女性委員会の事業報告・収支決算報告が行われました。昨年度は、新しく始めた「スキルアップセミナー」を始め、年4回の勉強会等を実施しました。「暮らし+(プラス)勉強会」では、愛媛県が全国で生産量トップの「水引」を使ったワークショップを開催しました。「水引」を使ったアクセサリー等は最近女性の中で人気が高まっており、注目のアイテムです。直接伝統工芸士の先生に教えてもらいながら、ストラップや小物づくりに楽しく取り組みました。

私が女性委員長になって初めての年度で不安もありましたが、女性会員の皆様の協力もあり、無事1年を終えることができました。この場を借りてお礼申し上げます。

前年度報告のあとは、今年度の事業計画・収支予算について会員の皆さんと意見を交わし、全会一致で承認されました。今年度も引き続き会員の皆さんや地域の皆さんに喜んでいただける事業を企画します。

また、来年6月には愛媛県にて「中四国ブロック青年・女性建築士の集い」が開催されます。青年・女性会員で協力して素晴らしい大会になるように、実行委員の方々をはじめ、皆さんで盛り上げていきましょう。



参加者のみなさん

## 昨年度の事業報告(抜粋)

- 6月 中四国ブロック青年・女性建築士の集い 香川大会への参加(4名)
- 7月 全国女性建築士連絡会議(高知)への参加(9名)
- 8月 第1回スキルアップセミナー開催。佐藤 実先生を招き、木造の構造について熱く語っていただきました。(31名参加)
- 10月 建築士会全国大会(さいたま)への参加(5名)
- 11月 南予地区見学会。「南予の誇れる遺産」に認定されている建物や雄大な自然に触れることができ、有意義な見学会となりました。(7名参加)
- 1月 新年会開催。懇親、意見交換等。(14名参加)
- 1月 第2回暮らし+(プラス)勉強会開催。水引を使ったワークショップを開催。地場産業に触れながら、楽しく取り組みました。(14名参加)

## 今年度の事業予定および実施済事項

- 6月 中四国ブロック青年・女性建築士の集い(しまね)への参加(9名)
- 7月 全国女性建築士連絡協議会(東京)への参加(5名)
- 8月 第3回暮らし+(プラス)勉強会開催予定。今年は、モザイクタイルを使ったワークショップを開催します。
- 9月 建築士会全国大会(函館)出席予定。
- 10月 東予地区見学会開催予定。広瀬邸や日暮別邸記念館など近代建築や、あかがねミュージアム他を見学予定。
- 1月 新年会開催予定
- 1月か2月 異業種交流会(福祉関係の予定)開催予定
- 1月か2月 スキルアップセミナー開催予定。伝統的な和風建築に詳しい方を講師に迎えてお話を聞く予定。

10月以降に実施予定の事業については、予定が変更になる場合もあります。日時が決定次第、開催案内をメールや会報誌、士会ホームページにて発信予定です。女性会員だけでなく、男性会員および一般の方にも多数参加していただきたいと思います。

これからも愛媛県建築士会女性委員会の活動にご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

# 令和元年度 第29回全国女性建築士 連絡協議会(東京)報告

「未来へつなぐ居住環境作り」—和の伝統技術の継承と創造—

八幡浜支部 眞田井良子

日 時：令和元年7月13日(土)～14日(日)

場 所：日本建築学会 建築会館



2年前のこの協議会の分科会「子どもと住環境」にて、八幡浜で行なっている活動の報告をさせていただき、「子どもと住環境」に関しての色々な取り組みをさせていただき、いろいろな意見交換を持ち、貴重な気づきと発見がありました。今回も、全国の様々な取り組みを学ばせていただきたいという思いで、再び参加させていただきました。

**【1日目】** 活動報告では、岩手県から「盛岡市の町家再生の取り組み活動」について、秋田県から「建築家 白井晟一の建築物群の調査・保存・活用」の発表がありました。特に、平成27年度から「ヘリテージマネージャー養成講習会」が開催され、その活動の促進に繋がっているそうです。



引き続き被災地報告として、北海道から「胆振東部地震報告及び取り組みについて」、福島県から「ふくしまの現状」、岡山県から「西日本豪雨災害からのメッセージ～WAGAKOTOとして～」がありました。

近年続いている災害に関わる大事なメッセージをいただき、愛媛県も同様に西日本豪雨災害による甚大な被害を受けた県として、我が事として考えさせられる内容でした。特に、建築士として、被災された方々への建築相談内容と応答は、しっかりと全建築士に共有していくべきだなと思いました。

その後、(有)原田左官工業所 原田宗亮氏より「和の伝

統技術の継承と創造～新たなプロの育て方～」という内容の講演がありました。従業員49名中10名の女性が活躍されているそうです。従業員への育成・定着の仕組みとして、技術は見て覚えるだけでなくしっかりと教える「モデリング訓練」、約4年で左官として一人前になった時に、社員や一人前になった社員の家族をお招きしての盛大な「年明け披露会」、定期的に先輩2～3人が後輩10人くらいの悩みを聞いたりする「ブラザーシスター制度」に取り組まれているそうです。

そのほか、着地型観光としても参考になったのが「仕事旅行社さんと一緒に行われている『仕事体験』」だそうです。一日がかりの内容で、午前中は左官体験として、実際にコテを使って土壁を塗る体験を行い、午後、左官の現場を見せてもらって、左官職人さんへの質問タイムが用意されています。特に午後の内容が良かったと反響があり、体験された方が就職されたことも何件かあるとのこと。

**【2日目】** 今回も引き続き、分科会は「子どもと住環境」に参加させていただきました。福井県から「伝統的な建築素材に触れることで得られる子どもたちの気づき」をテーマに「出前授業(木の授業)」という形で住教育に取り組まれている事例発表があり、その後、その福井県を参考に始められた、和歌山県から「『紀州材』を使った住環境教育」の事例発表がありました。

当たり前の話かもしれませんが、対象年齢によって授業の伝え方を工夫する必要があること、できるだけ実物を使って触れる機会を作ること、2時間で授業化し、学校側へ提案すること、資金繰りの話、今後は義務教育の中で実施して行く提案ができないかなどのお話が出てきました。



このように「全国女性建築士連絡協議会」では、全国で活動をされている方々の発表を聞くことができ、かつ、意見交換をさせていただけるのが非常にありがたいと感じています。貴重な機会をいただきましてどうもありがとうございました。

# 松山支部北地区主催 明石寺・宇和島城・遊子の段畑・ こもてらす研修会に参加して

松山支部 田中 安紀

開催日：令和元年5月26日(日)

参加者：11名

令和元年5月26日(日)、今回も素晴らしい提案をしていただく門屋さんの計画のもと、数ヶ所の案件の中、一番興味があった西予・宇和島方面の研修会に決まり参加しました。どれも初めての場所で興味深いものばかりでしたが、「こもぶちうみのいえ こもてらす」の釣りに惹かれてしまった私です。小学一年生になる息子も一緒に参加させていただきました。



まず最初に訪れた第43番札所源光山円手院明石寺は、古墳時代後期である6世紀の前半欽明天皇の勅願により、円手院正澄が唐からの渡来仏であった千手観音菩薩像を祀るために創設したのが起源とされ、日本最古の寺といわれています。

石段から見上げると、どっしりとした立派な山門が見え、そこを登ると本堂と大師堂が見えます。チラホラと参拝者もいましたが、鳥の音が聞こえ、樹の間から陽の光がこぼれ落ちる閑静な雰囲気のあるお寺でした。

次に向かったのは宇和島城です。駐車場から宇和島城まで、約15分ほどの急な山道を登って行くのですが、運動不足の私は着いた頃にはヘトヘトになっていました。お城の規模は少し小さいようですが、上がりきったら広い芝生が生えた広場に宇和島城が堂々とした造りで建っている様は、とても品格ある城構えでした。内部は、またこれもかなりの急階段でしたが、天守閣から見渡す景色はとても気持ち良い風が入ってきてのんびりと外を眺められる、そんな天守閣でした。

帰りの階段はさらに急に感じられ大人でも降りるのは一苦勞…。息子は最後抱っこしておろしてもらいました。宇和島城のあとは、「日本農村百景」「宇和島24景」に選ばれている、遊子水荷浦の段畑を訪れました。遠くから見える段畑風景は絶景で、近づいてくる景色に思わず、

『お～っ!』と声を上げてしまいました。段畑の中を歩いて散策できるのですが、上階から下を眺める景色にも圧倒されました。



段畑はじゃがいも畑で、収穫された後でしたが、もう少し早かったらじゃがいもの収穫体験もできたようです。

ここまで、山道・傾斜道もありかなり歩きましたが、見どころ満載の充実した研修となりました。

最後は、「こもぶちうみのいえ こもてらす」で、皆とゆっくり海鮮バーベキューを楽しみました。

釣りを楽しみにしていた私は、息子と一緒に釣りを楽しみました。釣れませんでした。カキやヒヨリ貝、魚料理も美味しくいただきました。



**もう一度、行きたい!**

笑顔あふれる、とても楽しく充実した一日となりました。

研修を計画していただいた方、運転をいただいた方、息子と一緒に遊んでいただいた方、今回の研修に参加された方、皆さん、ありがとうございました。

本当に楽しい研修会となりました。

# 令和元年度 西予支部総会報告及び「建築士の日」行事計画

西予支部長 信宮 靖

## 令和元年度 西予支部総会・懇親会

日 時：令和元年5月30日(木) 午後6:00～  
会 員：18名  
賛助会員：1名  
来 賓：3名 出席

昨年は、西予水害支援として7名の会員がボランティア活動を行った事等を報告した。



2. 笠置峠古墳 散策



懇親会 風景

## 「建築士の日」行事計画

四国西予ジオパーク研修会（宇和町編）  
開 催 日：令和元年8月4日(日)  
研修時間：10:00～17:30  
参 加 者：支部内 会員・一般者 25名程度予定



3. 山田薬師 お参り



1. 観音水散策 たらいそうめん



4. 卯之町中ノ町町並み 散策

## 松山支部 相原 昌彦

木造住宅のエキスパート、松山支部の村上敦さんからバトンを受け取りました相原昌彦と申します。松前町で意匠系設計事務所をする傍ら、建築士会教育事業委員会に所属し講習会のお手伝いをさせて頂いています。平成も30年を区切りに新元号に変わりました。残暑のこの折、令和の響きにも馴染んできたと思います。

私事、昭和60年の春、夢と希望を胸に九州産業大学を目指して、松山観光港22:00発～小倉港行きフェリーに級友と乗船、人でごった返す雑魚寝の二等客室からもあふれ、食堂のテーブルの下で毛布にくるまり長い夜を過ごして、朝靄の立ち込めたJR香椎駅へ到着しました。超現実的な船出が今後の大学生活を予感していたのは、当時の僕は知る由もありませんでした。松工の先輩の方々に、これからの学生生活のアドバイスを頂き、また学生寮での規律正しい生活（ご存知の方は笑うところです）のお陰で順調な滑り出しができました。

愛媛県の人口の3倍以上ある大都会福岡は、高層のカーテンウォールのオフィス街や、流行りのファッションモデルさながらの若者等、見るモノすべてが新鮮で刺激的でした。例外なくお洒落な学生が行き交う学内でしたが、僕は相変わらずTシャツにジーンズ姿で、いつもの焼き飯（¥180）を食べて過ごしました。

松工出身の僕は、1年生では一般教養に手を焼き、必須科目の物理学は特に相性が悪く、4年生の金曜日は1～5時限まで物理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを受講する始末でした。級友からは「あの構造力学が分かって、物理が分らん方が分らん？」と不思議がられました。学生生活にも慣れた3年生になると、土曜日の夜は「オレたちひょうきん族」を見てから「今日は太宰府へ行こう！」などと言いながら級友が集まり、佐賀・大分・熊本の「夜の観光地」を巡るドライブに毎週出かけていました。

4年間製図の課題はT定規と製図板で作図していましたが、卒業設計製図だけは級友（級友はなぜか3年生）のドラフターを借りるため、級友のアパートに2週間居候して作図していました。新年早々に「新しい元号は平成です」を目撃し、なぜか興奮してしまい「おい、時代が変わるぞ！」と横で寝ていた級友を起こしました。こうして「バブル」が弾ける（弾けた？）寸前の好景気で沸く、平成元年に大学を卒業し、建築業海（界）へと出港して行きました。

仕事を終えて外に出ると、周囲のビルの窓にも煌々と灯りがつき、忙しげに動く人影をよく目にしました。TVから「～24時間戦えますか～♪」と流れる中、寝る間も惜しんで、仕事に？ 遊びに！ 突っ走っていま

した。政府挙げての「働き方改革」の今ではパワハラと言われますが、まだ、そんな言葉はありませんでした。「借金してでも不動産を買え！」なんて言われた時代ですから、絶えず計画物件に追われていました。依頼者からは「とにかく一番高い仕様で設計して下さい」と指示されましたが、未熟な僕は材料や工法を覚えるのが精一杯で、事務所へ戻っては次々に生み出される特徴的な建物が載った建築雑誌を眺めていました。「木を使った建築」で有名な隈研吾氏の「マツダM2ビル」なんかも、奇抜で今でも印象に残っています。



司馬遼太郎記念館の庭に咲いていた桔梗の花

結婚を11月に控えた30歳に、念願の一級建築士試験も合格して試験勉強から解放されました。資格を取ったからと言って日々が変わることはありませんでしたが、建築基準法第1条「～最低の基準を定め～国民の生命、健康及び財産の保護～目的とする」の重さを改めて噛みしめました。40歳を目前にして、10年近くお世話になった不動産鑑定事務所を退職し設計事務所を開業しました。が、顧客がいる訳でもなく単発的な業務をこなす日々でした。ある日「青年部から～ご案内」の葉書が届き、暇に任せて参加した折、当時の松本委員長に乗せられ 青年委員→教育事業部委員→道後地区長 と今に至っています。当初は「なんでこんなに熱くなる？」と感心していましたが、有無を言う間もなく様々な行事をした今では「良い経験をさせてもらった」と思います。この場をお借りして、建築士会事務局を始め、士会員の皆様にご挨拶申し上げます。

今日まで「黎明の昭和」→「成長の平成」だと自負しています。今後は「成熟の令和」に成るべく、これからも加速して行きますので、温かく見守って下さい。

次のバトンは松山支部の八束智恵美さんをお願いしました。よろしくお祈りいたします。

# 建築士会の活動を通じて

伊予支部 石田 達也

この度、松山支部の峰岡さんからバトンを受け取りました伊予支部の石田と申します。文章は苦手ですが頑張ってみます。

では自己紹介から。小学生の頃に近所で建築中の家を見て「大工さん面白そう」と思ったのがきっかけで松山工業高校建築科に進学。卒業後は都会への憧れもあり大阪の会社に就職しましたが、3年ほどで愛媛に帰り、勤めていた会社の倒産なども経験しながら今に至ります。

職種は施工管理が主で、監理の方々や現場の職人さんと日々切磋琢磨しています。

建築士の資格を取得したのは、学科試験が4科目から環境・設備が増えて5科目になった年でした。「なぜ法規が単独なんだ！ 時間が足りないじゃないか！」と怒りを覚えたのを思い出します。この年から建築士会に入会していろいろな行事に参加させていただきました。記憶に新しいところでとびだせ建築士の一環として行った「平成30年7月豪雨」の災害ボランティアについて少し書きたいと思います。

8月6日の早朝から城山公園の広場に松山聖陵高校の生徒さんたち数十名が集まりました。夏休みの最中自主的にボランティア参加を希望して集まった有志達。バスで被災地のボランティアベースに移動し、そこから何班かに分かれてそれぞれの活動場所へ。私が同行した班は吉田町のとある民家でした。被災状況は裏山が土砂崩れして1階に土砂が流れ込んだそうです。何日か前からボランティアの方に作業してもらっていたらしく、だいぶ土砂も取り除かれていました。今回の作業は残りの土砂の搬出と、土砂で汚れた床板材・大引き・根太の清掃を行いました。真夏という事もあり、20分作業したら20分休憩するサイクルで作業を進めていきます。生徒さんたちは「暑い〜」「しんどい〜」といいながらも真面目に確実に作業をこなしていきます。

休憩時間を利用して歩いて行ける範囲で被災状況を見に行ったりしながら午後2時、予定通り作業終了してボランティアベースに戻りました。何事も無くボランティア活動を終わられてホッとしました。ボランティアをさせてもらった民家は昔ながらの造りで太鼓摺りの根太などを見る事が出来たので生徒さんたちの建築の勉強にもなったのではないかと思います。恥ずかしながら私自身、災害ボランティアに参加するのが初めてで、生徒さんたちと一緒に貴重な経験をさせていただきました。微力ながら災害復旧に協力出来た事を今後の糧にしたいです。



ボランティア作業

建築士会のいろいろな行事に参加していくうちに顔見知り程度ではあるのですが、知っている人が増えていき、また自分を知ってくれている人が増えてきました。「知らない人」と「顔見知り」の差はとても大きく、顔見知りになるきっかけとしてはとても良い会ではないかと思っています。私は持ち前の「人見知り」を發揮して存分に会を活用できていませんが……。今は伊予支部の青年委員長の役までさせてもらってます。

伊予支部のほうの活動にも少し触れておきたいと思っています。伊予市では毎年3月に「五色姫復活祭」が行われており、商店街に点在する歴史的建築物をウォークラリーで巡ってもらうイベントを行っています。正直景品目当ての方もいらっしゃいますが、建築士会として地域に貢献できているので良いと思ってます。家族連れの参加が多く、子供たちがゴールした後、嬉しそうにガチャガチャでくじを引いている姿を見るとこちらまで嬉しくなりますね。

最後になりましたが、今後も建築士会の活動を通じて成長していければと思います。

次回は今治支部の重松憲太郎さんにバトンを繋ぎたいと思います。よろしくお願いいたします。



ウォークラリー

# 令和元年度 通常総会概要報告

お知らせ

7

開催通知日：令和元年5月15日

総会日時：令和元年6月18日(火) 15:00～16:00

会議場所：ANAクラウンプラザホテル松山 南館4階

## 総会成立宣言

大西事務局長より、当会の令和元年6月18日現在の正会員数は、1,355名、本日の出席正会員139名、委任状636名を含め、合計775名であること。

定款第18条に定める定足数（正会員の過半数の出席）を満たしているので有効に成立していることを宣言した。

## 議長選出

定款第16条の規定により、出席理事の内から選出することとなっていることから、出席正会員に諮った結果、尾藤副会長を選出した。

## 議事録署名人指名

井上竜治氏、松平定真氏の両名を指名した。

議案第1号～第4号について（事務局：大西常務理事より説明）

## 議案第1号 平成30年度事業報告及び収支決算について（計算書類）【議決】

平成30年度事業の重点施策の実行状況、個別事業及び収益事業等の実施状況並びに平成30年度収支決算状況について説明した。また、森監事より総会資料により監査報告があった。

◆平成30年度事業報告及び収支決算について、尾藤議長が諮ったところ、全員異議なく、原案通り議決された。

## 議案第2号 令和元年度事業計画及び収支予算の決定について【報告】

令和元年度事業計画及び令和元年度収支予算について説明した。また、経常収益89,864千円、経常費用89,216千円、当期経常増減額は648千円と説明した。

◆尾藤議長から意見を求めたところ、意見なく、報告を終了した。

## 議案第3号 入会金及び会費の一部免除について【議決】

入会金及び会費の一部免除について説明した。

◆尾藤議長が諮ったところ、全員異議なく、原案通り議決した。

## 議案第4号 愛媛県建築士会館の建替えについて【報告】

会員、賛助会員及び企業様より約1,800万円の借入金、ご寄附を頂き建築士会館の建替えが令和元年5月15日に無事完了したことの報告及び多大なるご協力を頂いたことへの感謝の言葉を述べた。



会長表彰 受賞者のみなさま



赤根会長 式辞



総会会場



懇親会

## あなたの原稿をお待ちしています。

公益社団法人として、広く異業種や全ての皆様から建築士会の枠を超えて原稿を広く募集して広く購買して頂くようにしています。是非、寄稿して頂きますようお願い致します。本年度は年6回発行となります。  
(尚、営業的色彩の濃いものにつきましては、掲載されない場合もありますので、ご了承ください。)

「いしづち」の本年度の原稿締切日

令和元年 11月号 (131号) 令和元年9月26日(木)

※校正印刷の関係で締切延長の最終期限は一週間後の木曜日とします。

※1ページ写真込みで2150文字 (25文字×43行×横2段) のWORD様式を事務局で用意していますので  
ご活用ください。

写真は1ページ当たり3枚程度まで題名を付けて添付してください。

また宜しければ投稿者の写真 (免許写真程度の顔写真) を添付してください。

会員の皆様のご参加をお待ちしております。また記事等についてのご意見・ご感想もお寄せください。

(尚、投稿された原稿につきましては、要旨を変えない程度の若干の訂正等を加えることがあるかもしれませんので、予めご了承ください。)

この誌面を通じて、会員の方々、そして一般の方々にまで、建築についての対話等の輪が広がれば、と願っています。  
情報・広報委員会

## 読者の声欄

「いしづち」に関するご意見・ご提案などをお寄せください。お待ちしております。

「いしづち」編集委員会 (士会事務局内) 宛  
FAX 089-948-0061

## 編集後記

ある舞踊家の舞台デザインを手掛けている若い建築士の卵に出会いました。

彼は日本では建築士の卵ですが、3年前までイギリスのロンドンの建築士事務所で建築士として働いており、博物館からアーティストのABBAの住宅まで幅広く関わった実績がありました。

彼を委員会に招いてお話をした時の内容が興味深かった。

イギリスでは建築士の資格を取得するのは難しくない。だからこそ、実績と経験と活動が重んじられる。民主導だと言うのです。

日本もそうなれば建築士会の活動も重要視されるのにな。と感じました。

## 〈いしづち〉 2019/9

令和元年9月発行

発行人 会長 赤根 良忠

発行所 公益社団法人 愛媛県建築士会

〒790-0002 松山市二番町四丁目1-5 愛媛県建築士会館 2F

TEL (089) 945-6100 FAX (089) 948-0061

<http://www.ehime-shikai.com> E-mail: [info@ehime-shikai.com](mailto:info@ehime-shikai.com)

印刷所 アマノ印刷有限会社

情報・広報委員会・広報委員

委員長 / 大平 将司 副委員長 / 渡邊 道彦

編集委員 / 大上 恵子 山本 晶子 政石 信行 白石 学 武智 良太 成松弘之助

# ☆会員の皆様、住所等が変更になった時には事務局までお知らせください。(FAX 089-948-0061)

公益社団法人 愛媛県建築士会

## 会員住所等の変更届出

この様式は愛媛県建築士会の会員名簿データの変更のみです。建築士のデータの変更には使用できません。

【正会員・準会員】

ふりがな		支部		年	月	日
氏名		生 年 月 日	大 昭 平	年	月	日
変更部分のみ記入して下さい	現住所	〒		TEL FAX		
	勤務先 名称					
	勤務先 所在地	〒		TEL FAX		
建築士資格	一級・二級・木造・準	登録年月日	昭・平	年	月	日
		登録番号		第		号

↓ 住所等に変更のあった建築士の方は下記の書類も提出してください。

### 建築士法上の住所等の届出については下記のとおりです。

建築士住所等の届出の次の記載事項(①～③)に変更があった場合、変更があった日から30日以内に(公社)愛媛県建築士会に申請者本人が届け出てください。

- ①住所、本籍等
  - ②建築に関する業務に従事する者にあつては、その業務の内容
  - ③勤務先の名称(建築士事務所にあつては、その名称及び開設者の氏名)及び所在地
- 書式は愛媛県建築士会のホームページからダウンロード出来ます。

### メールマガジンで講習会や勉強会などの情報をご案内

メールマガジンにご登録いただいた方には、講習会や勉強会などの情報をメールでご案内します。登録メールアドレスはパソコンアドレス、携帯アドレス、どちらでも可能です。

ご案内メールの登録・変更・解除はHPから

<http://www.ehime-shikai.com/mailmagazine>